

第2回 解説・出題の狙い

解説中の【A】【B】【C】【D】は正答率及び得点率を表しています。【A】は76%以上、【B】は75～51%【C】は50～26%【D】は25%以下となります。参考にしてみてください。

1 晃華学園周辺の立体地形図を題材に、古代～近現代の歴史を問う問題。

問1 【D】川の浸食で形成された階段状の地形は河岸段丘である。

問2 【C】(ア) 仏教伝来は6世紀、(イ) 弥生土器の制作に、のぼりがまは使われない、(ウ) 大仙古墳が作られたのは5世紀頃。

問3 (1) 【C】(ア) 推古天皇の即位は6世紀末、(イ) これも6世紀末の事件、(ウ) 藤原京遷都は694年、(エ) 平安京遷都は794年。

(2) 【国分寺建立の詔：C 大仏造立の詔：D】

聖武天皇は鎮護国家のために741年に国分寺建立の詔、743年に大仏造立の詔を出した。問題文の「詔(みことのり)」の意味が分からなかった受験生が多数であったため、国分寺、大仏の語句が順番に書かれていれば正解とした。

(3) 【月日：C 理由：C】

参勤交代で、大名は1年おきに江戸と領地に住むことが定められていたため、1701年4月に帰国した大名が次に江戸に参勤するのは翌1702年の4月になる(5月も正解とした)。

問4 【B】深大寺城の周囲には谷があり、城は高い崖で囲まれている事が分かる。また、南側には野川も流れており、敵の攻撃を防ぐ役割をはたしていた。

問5 【C】この頃関東で勢力を拡大していたのは小田原の北条氏である。

問6 (1) 【D】薩長同盟で倒幕の動きが活発化したこと受け、徳川慶喜は大政奉還を行った。その後、薩長を中心に新政府が徳川氏を排除して王政復古の大号令を発令すると、これに反発した旧幕府軍と新政府軍の間で鳥羽伏見の戦いが起こった。

(2) ① 【D】多摩地方は江戸城に近く徳川幕府との関係が深い場所であったため、明治になって幕府を倒した薩摩藩、長州藩、土佐藩、肥前(佐賀)藩出身の役人が明治政府の実権を握ると、これに不満を持ち自由民権運動に参加する有力農民が多かった。

② 【B】地租改正の内容が正確に理解できていれば書ける問題。土地所有者は地主でも可、地価は土地の値段でも可、現金はお金でも可とした。

問7 【C】(イ) は生糸ではなく綿糸の間違い、(ウ) は女性労働者の間違い、(エ) は蒸気力の間違い。

問8 【A】1951年の日米安全保障条約で、米軍が日本国内の基地を継続使用することが認められた。

2 北陸地方を題材とした問題

問1 1 【C】山地が南北に走る東北日本と、東西に走る西南日本の間が存在している溝をフォッサマグナという。

2 【D】フォッサマグナの西側の断層は、新潟県糸魚川市～静岡県静岡市を結んでいる。ちなみに東側は、浅間山・八ヶ岳・富士山などの火山活動のために不明確になっている。

問2 【B】世界ジオパークの認定や持続可能な発展を支援している国際機関は(ア) UNESCO(ユネスコ・国連教育科学文化機関)である。(イ) UNICEF(国連児童基金)は、発展途上国への児童へ食料・衣料品・医療などの支援を行う機関。(ウ) UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)は、難民に関する問題を扱う機関。(エ) WHO(世界保健機関)は、医療・衛生についての環境や技術の改善を通して、各国の国民の健康を保つことを目指す機関である。本校はユネスコスクールに加盟しており、また、難民支援活動なども学校内で行っているため、これらの国連関係の組織に関する興味を持ってもらえたらと思う。

問3 【C】問題文中に“日本海周辺の国々との交流をはかり”とあるので、日本海沿岸の近隣国を選べば正解。環日本海経済圏構想では、互いの国で資源・労働力・技術力・資金を利用し合って、ともに発

展しようとして構想されていた。

問4 【B】(ウ)の庄内平野を流れる河川は、最上川である。

問5 【A】(ア)の岩手県は北陸地方の県ではなく東北地方、(イ)の加賀友禅は石川県金沢市、(ウ)の越前和紙は福井県越前市が主な産地となっている。

問6 【A】1918年に富山の主婦たちが起こした暴動が、全国的な米騒動となり広まっていった。この直前、日本は欧米諸国とともにシベリア出兵を決定しており、これによる米の需要を見込んだ商人により日本国内で米が大量に買い占められたため、米価が急激に上がった。このことに対して、米の安売りを求める運動が日本全国に広がった。

3 中国・四国地方に関する問題

問1 【岡山市：B 鳥取市：B】

地域による気候の特徴と各地域の中心となる都市の位置を理解しているかを問う基本的な問題。3つの雨温図は、温度の変化については大きく違わないので、雨量とその変化に注目して、解答すれば良い。雨量は、(ア)は冬、(イ)は夏に多く、(ウ)は年間を通して降水量が少ないことがわかる。これを各地域にあてはめると(ア)は日本海側、(イ)は太平洋側、(ウ)は瀬戸内地域の気候だと考えられる。これをそれぞれ問題文中の3つの都市にあてはめると(ア)は鳥取市、(イ)は高知市、(ウ)は岡山市となり、それぞれの都市の位置を確定してゆく。基本的事項だが、出来ていない受験生が多くみられた。

問2 【(1)：D (2)：C (3)：C】

この地方の主な都市の特色を理解しているかを問う問題。(1)は「在日米軍と自衛隊の使用する基地」、(2)は「マグロ・真アジの水揚げ高が日本有数」「水木しげるロード」、(3)「しじみの漁獲量日本一である湖を臨む」などがヒントとなる。それぞれの地図中の位置についても、基本的な事項である。

問3 【C】高知平野から東京までの輸送には様々なルートがあり、それらを地名を見て考えられるかを問うた問題。羽田が出ているので、Cが航空機であることは容易にわかる。川崎が港でBが船であることが分かるかがポイントだが、少し考えれば出てくる答えなので、完答とした。

問4 【B】中国地方に、過疎地域が多い理由を考える問題。地図を読み取り、この地方の真ん中を通っている中国山地が関係していること、日本海の交通の便の悪さから商工業などの産業が起りにくく、若い人たちを中心に地域の外に出て行って高齢化率が高くなることに気付いて欲しい。

4 パラリンピックをテーマにした、多様性を考える問題

問1 【A】時事問題として出題。パラリンピックに難民選手団が出場したことを知らなくても、シリア難民が増加していることは知っていてほしい。

問2 【B】パラリンピックが重視する価値に「equality(平等)」がある。しかし、平等には様々な解釈の仕方があるので、それについて考えてもらいたいという問題。パラリンピックについては、「障がい者と健常者が一緒にプレーすることが平等ではないのか」という意見が寄せられることもある。しかし、一律に一緒にするのではなく、その人が持つ「違い」を尊重することも平等における重要な考え方だと気づいてほしい。

問3 (1) 【A】バリアフリーについて考えてもらう問題。多機能トイレなどは近年増加しており、現在の小学生にとっては当たり前の存在かもしれない。そういう当たり前の意義に焦点を当て、重要性に気づいてほしい。

(2) 【A】心のバリアフリーとは、簡単に言えばマナーである。ゆえに、自分がマナーを逸してしまえば、それは障がいを持つ方にとってのバリアになってしまうということを強調した問題。この問題を通じ、「マナーを守る」こと大切さを考えてほしい。

問4 【C】現在の国際社会が抱えている非常に重要な問題が、国内の「分断」である。そして分断は、他者が持つ自分との違いを尊重できないから起こるトラブルである。他者を受け入れないということが、争いや戦争の火種になっていく。パラリンピックが共生社会の実現を掲げつつ、平和の祭典とも呼ばれているのは、この2つの価値が密接につながっているからである。自分と違う他者を受け入れることの重要性を、平和という観点から考えて欲しい。